

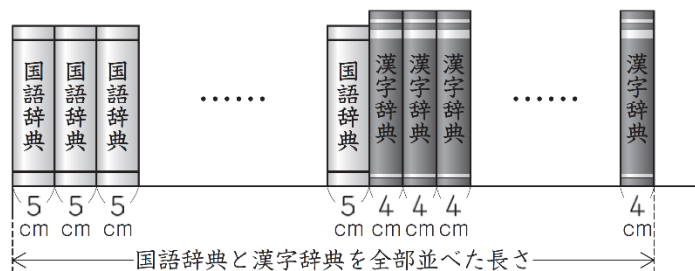
3

辞典やファイルを、教室の後ろに並べようとしています。

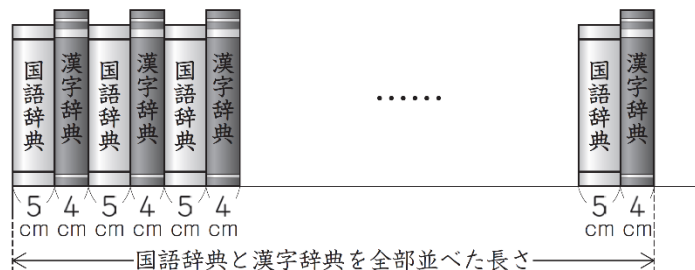
(1) わかなさんの学級では、国語辞典と漢字辞典を1人1冊ずつ使えるように、ロッカーの上に並べることにしました。そこで、並べる前に、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、どのくらいになるのかを考えています。国語辞典1冊の厚さは5 cm、漢字辞典1冊の厚さは4 cm、学級の人数は28人です。



国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



1人分ずつ並べたとして考えることもできます。



年 組 番 氏名



わかなさんの並べ方でも、あきらさんの並べ方でも、どちらも同じ長さになるはずですね。

わかなさんとあきらさんは、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、何 cm になるのかを計算で求めようと考え、それぞれ自分の並べ方をもとにして、次のような式を書きました。

【わかなさんの式】

$$5 \times 28 + 4 \times 28$$

【あきらさんの式】

$$(5 + 4) \times 28$$

【わかなさんの式】の「 $5 \times 28$ 」と、【あきらさんの式】の「 $5 + 4$ 」は、何を表していますか。

下のアからエまでのの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 国語辞典 28 冊を並べた長さ
- イ 漢字辞典 28 冊を並べた長さ
- ウ 国語辞典1冊の厚さと漢字辞典1冊の厚さを合わせた長さ
- エ 国語辞典 28 冊と漢字辞典 28 冊を並べた長さ

解答らん

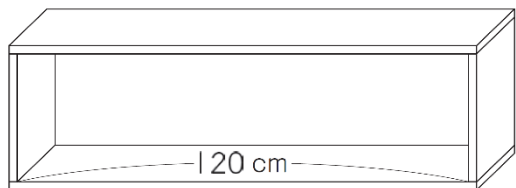
$5 \times 28$

$5 + 4$

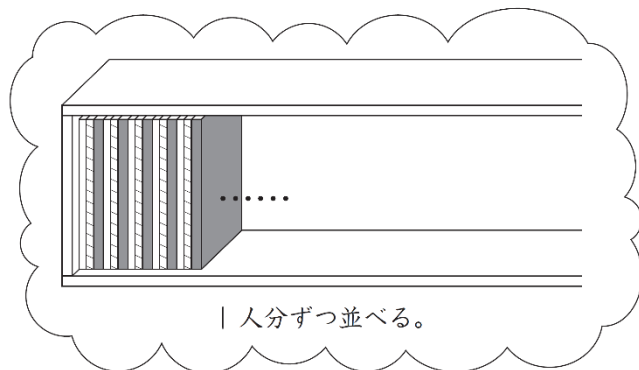
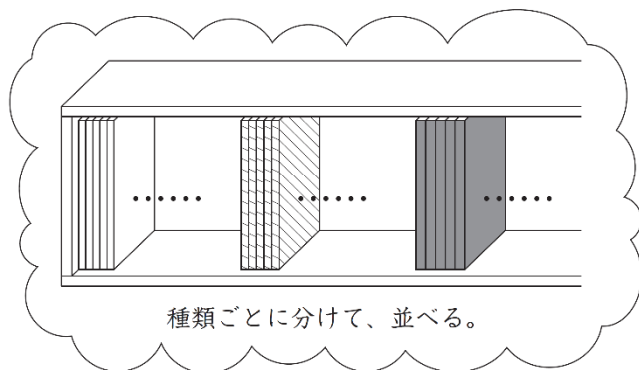
※ 問題は、次のページに続きます。

(2) けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4 cm、1.6 cm、2 cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。

下のような、はば120 cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。



けんた



あやね

3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。

全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

- 1 入れることができる。
- 2 入れることができない。

### 解答らん

求め方		
答え	cm	番号

(3) けんたさんは、下の①と②の計算について考えています。

それぞれの計算の答えを書きましょう。

①  $(151 + 49) \times 3$

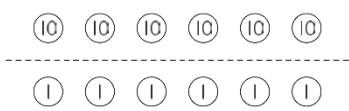
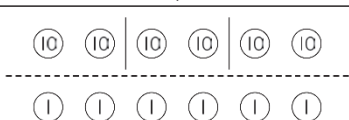
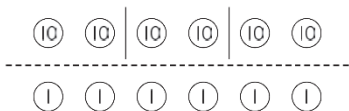
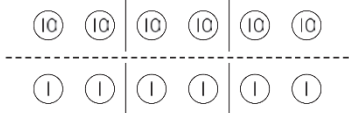
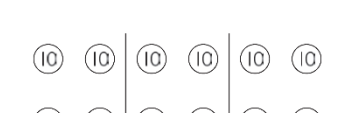
②  $151 \times 3 + 49 \times 3$

### 解答らん

①		②	
---	--	---	--

※ 問題は、次のページに続きます。

(4) けんたさんは、 $66 \div 3$ の筆算について、次のように図を使ってふり返りました。

【 $66 \div 3$ の筆算】	【けんたさんの説明】
<b>手順1</b> $\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \end{array}$	10を⑩、1を①で表して、60について考えます。 
<b>手順2</b> $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \end{array}$	
<b>手順3</b> $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \end{array}$	6について考えます。 
<b>手順4</b> $\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \underline{6} \end{array}$	
<b>手順5</b> $\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$	

【けんたさんの説明】をもとにすると、 $66 \div 3$ の計算を、下のよう  
に考えることもできます。

$$\begin{aligned}
 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\
 &= \overset{\text{あ}}{60} \div 3 + \overset{\text{う}}{6} \div 3 \\
 &= \overset{\text{い}}{20} + \overset{\text{え}}{2} \\
 &= 22
 \end{aligned}$$

【 $66 \div 3$ の筆算】の**手順2**で十の位に  
たてた「2」は、上の式のあ、い、う、えの  
どの計算をした結果を表していますか。一つ  
選んで、その記号を書きましょう。

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \end{array}$$

解答らん

# 令和5年度 小学校 算数 解答

3

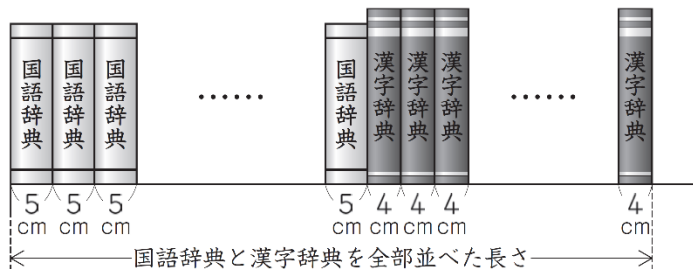
辞典やファイルを、教室の後ろに並べようとしています。

(1) わかなさんの学級では、国語辞典と漢字辞典を1冊ずつ使えるように、ロッカーの上に並べることにしました。そこで、並べる前に、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、どのくらいになるのかを考えています。国語辞典1冊の厚さは5 cm、漢字辞典1冊の厚さは4 cm、学級の人数は28人です。



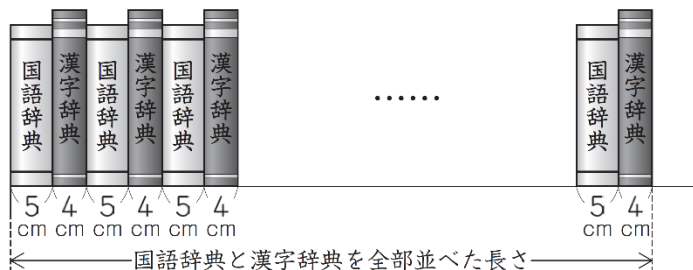
わかな

国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



あきら

1冊ずつ並べたとして考えることもできます。



年 組 番 氏名



ひまり

わかなさんの並べ方でも、あきらさんの並べ方でも、どちらも同じ長さになるはずですね。

わかなさんとあきらさんは、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、何 cm になるのかを計算で求めようと考え、それぞれ自分の並べ方をもとにして、次のような式を書きました。

【わかなさんの式】

$$5 \times 28 + 4 \times 28$$

【あきらさんの式】

$$(5 + 4) \times 28$$

【わかなさんの式】の「 $5 \times 28$ 」と、【あきらさんの式】の「 $5 + 4$ 」は、何を表していますか。

下のア から エ までの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 国語辞典 28 冊を並べた長さ
- イ 漢字辞典 28 冊を並べた長さ
- ウ 国語辞典 1 冊の厚さと漢字辞典 1 冊の厚さを合わせた長さ
- エ 国語辞典 28 冊と漢字辞典 28 冊を並べた長さ

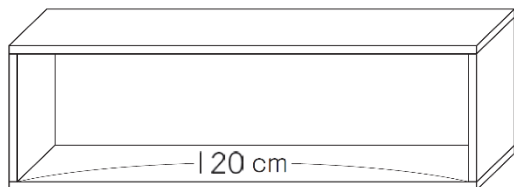
解答らん

$5 \times 28$	ア	$5 + 4$	ウ
---------------	---	---------	---

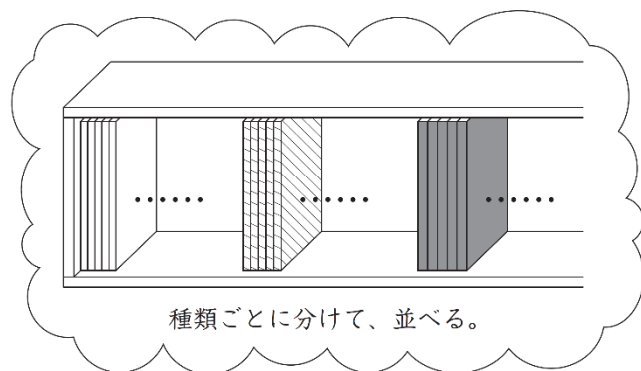
※ 問題は、次のページに続きます。

(2) けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4 cm、1.6 cm、2 cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。

下のような、はば120 cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。



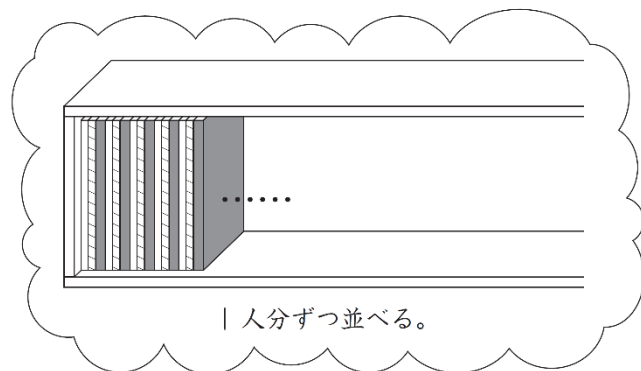
けんた



種類ごとに分けて、並べる。



あやね



1人分ずつ並べる。

3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。

全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

1 入れることができる。

2 入れることができない。

解答らん

求め方

(例) 1人分のファイルの長さを求め、その23人分の長さを求めると、  
 $(1.4 + 1.6 + 2) \times 23 = 115$  で、  
 115cmです。

答え	115	cm	番号	1
----	-----	----	----	---

(3) けんたさんは、下の①と②の計算について考えています。

それぞれの計算の答えを書きましょう。

①  $(151 + 49) \times 3$

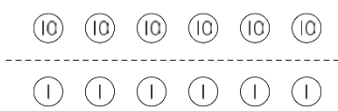
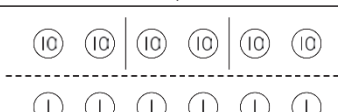
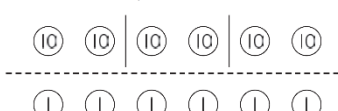
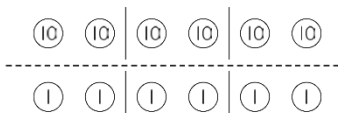
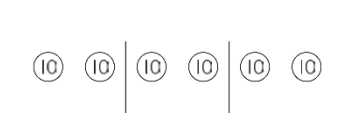
②  $151 \times 3 + 49 \times 3$

解答らん

①	600	②	600
---	-----	---	-----

※ 問題は、次のページに続きます。

(4) けんたさんは、 $66 \div 3$ の筆算について、次のように図を使ってふり返りました。

【 $66 \div 3$ の筆算】	【けんたさんの説明】
<b>手順1</b> $\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \end{array}$	10を⑩、1を①で表して、60について考えます。 
<b>手順2</b> $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \end{array}$	
<b>手順3</b> $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \end{array}$	6について考えます。 
<b>手順4</b> $\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \underline{6} \end{array}$	
<b>手順5</b> $\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$	

【けんたさんの説明】をもとにすると、 $66 \div 3$ の計算を、下のよう  
に考えることもできます。

$$\begin{aligned}
 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\
 &= \overset{\text{あ}}{60} \div 3 + \overset{\text{う}}{6} \div 3 \\
 &= \overset{\text{い}}{20} + \overset{\text{え}}{2} \\
 &= 22
 \end{aligned}$$

【 $66 \div 3$ の筆算】の**手順2**で十の位に  
たてた「2」は、上の式のあ、い、う、えの  
どの計算をした結果を表していますか。一つ  
選んで、その記号を書きましょう。

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \end{array}$$

解答らん

い